

笑顔あふれる学校・思いやりあふれる学校・チャレンジあふれる学校  
 令和2年度 飯野中学校 学校だより 第22号  
**自律 志保井が丘 協働**  
**挑戦 2020.7.3発行 文責 校長 目黒 満 創造**  
 教師・保護者・地域がみんなで見守り、みんなが育む学校

### 緊急対応、ありがとうございました。

昨日は、不審な脅迫じみたメールによる生徒の安全確保のための緊急対応、大変お世話になりました。



市へのメールで、市内の児童生徒へ危害を加えるといった内容であり、警察へも協力要請をし、発信元等に関する捜査は現在も進められています。昨日は、警察のパトロールが強化された中、本校では 3 時 20 分の一斉下校としました。

お迎えを待っていた最後の生徒も、3 時 30 分までには保護者の下に引き渡すことができました。保護者の皆様の急な事案への対応の素早さ、改めて感謝いたします。何か事件が発生したという情報は、市教委からも、また報道等でも聞こえてきませんので、何事もなく済んだものと、ホッと胸をなでおろしています。

こういった脅しや、人に対して危害を加える予告をする等の犯罪を引き起こす輩（やから）は、本当に許せないと考えます。

臨時休業明け、昨日のような事案や不審者による連れ去り未遂事案、また熊の出没の増加等、命の危険を感じるような事案が多く発生しています。本校 112 名の大切な命を毎日預かっている責任の重さを改めて自覚しています。

今後とも、自然災害等を含め、こうした際の安全確保の緊急対応について、これまで以上のご理解・ご協力をお願いします。何よりも、命が最優先です！



### 今後も引き続き警戒と安全確保を！

右は、今日 7 月 3 日の福島民報記事です。声掛け事案の発生は、コロナ自粛や臨時休業が続いた 3~5 月までは一けただったものが、6 月には激増しています。

コロナ感染も恐ろしいですが、幼児や小中学生、高校生にとっては、こうしたことをする不審者の方が、リスクが大きくなる可能性が高いのではないのでしょうか。

記事の警察の方のお話のとおり、学校からも「登下校の際は子どもが一人にならないよう保護者や地域住民で見守りを願いたい。」ところです。

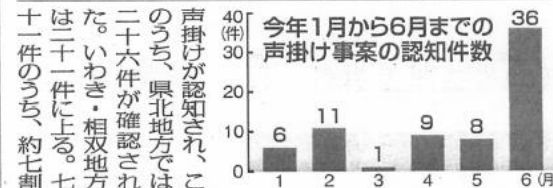
週末の部活動での行き帰りや外出、平日の登下校の際には、十分周囲に注意し、不審な車・人物等を見た場合には、大声を出す、逃げる、近所の大人や家に助けを求める等の対応と通報・連絡をお願いします。



県内で子どもが不審者に声を掛けられた事案について、県警が六月に認知した件数は三十六件で、今年一月から五月までの合計認知件数を一月で上回った。月別の件数は二〇一七・平成二十九年以来で最多となり、前月の四・五倍に急増した。声掛けは例年、六月から七月にかけて多く発生する傾向にあり、県警は警戒を強めている。二日、県警への取材で分かった。

件で推移していた。六月に入り、福島市で女児が不審な男に声を掛けられ、腕をつかまれている事案が発生した他、いわき市や二本松市でも声掛けが相次いだ。県内では一月から六月までに計七十一件の

# 県内声掛け、6月は36件 月別で最多、前月の4.5倍に 県警が警戒



の四十七件は、児童生徒の下校時間に当たる午後一時から午後五時までの間に発生した。声を掛けられた場所の約九割は通学路だった。県警は六月に認知件数が急増した理由について、日照時間が長くなり、子どもの活動が活発になったためと分析している。例年、気温が上昇する六、七月は声掛けが増加する傾向にあり、昨年は二カ月前で年間の約三割に

当たる計五十一件が認知された。県警本部生活安全企画課は「登下校の際は子どもが一人にならないよう、保護者や地域住民で見守りを願いたい。不審な人物や車を目撃した場合は、ナンバーや不審者の特徴を警察に伝えてほしい」と呼び掛けている。登下校時に通学路のパトロールを強化している。